

第27回石川県道路安全・円滑化検討委員会

日時：令和6年3月4日（月）15:00～16:30

場所：金沢河川国道事務所 2階大会議室

出席者名簿

公立小松大学 教授 高山純一委員長
金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋涼子委員
公益社団法人石川県観光連盟 副理事長（兼）専務理事
一般社団法人石川県タクシー協会 専務理事
公益社団法人石川県バス協会 専務理事
石川県婦人団体協議会 会長（代理）
中日本高速道路株式会社金沢支社 高速道路事業部道路管制センター交通管制課長
石川県警察本部交通部交通規制課長
北陸信越運輸局石川運輸支局長
石川県土木部道路建設課長（代理）
石川県土木部道路整備課長（代理）
石川県土木部都市計画課長（代理）
金沢市土木局道路建設課長（代理）
北陸地方整備局道路部道路計画課長
北陸地方整備局金沢河川国道事務所長

議事

- (1) 交通渋滞対策
- (2) その他（高速道路の割引試行）

議事要旨

【1. 交通渋滞】

(1) これまでの検討経緯

- ・これまでの主な検討経緯について報告。

(2) 主要渋滞箇所の見直しについて

- ・主要渋滞箇所を検証する評価区間の見直しについて承認。
- ・主要渋滞箇所の解除（7箇所）について承認。

(3) 金沢東部環状道路の4車線化について

- ・金沢東部環状道路の4車線化による交通量の変化、朝ピーク時の旅行速度・渋滞長の変化について報告。

(4) 国道8号の渋滞課題について

- ・県内の主要渋滞箇所の状況、渋滞損失時間が増加している乾東交差点の状況や松任地区の渋滞対策、今後検討すべき渋滞対策について報告。
- ・石川県内の主要渋滞箇所のうち、乾東交差点は早急に対策の必要性が確認された。
- ・松任拡幅の供用後、乾東交差点にさらに交通負荷がかかることが確認された。

(5) 局所渋滞対策事業について

- ・新たに創設された局所渋滞対策事業の概要について報告。

(6) 主な意見

- ・解除候補である徳田大津インター交差点は、現在、地震の影響により交通が集中している。このため、警察では、渋滞状況に応じて現地で手動対応により信号現示を調整している。今後、のと里山海道の復旧や、災害復旧車両の減少に伴い交通の流れが落ち着いてくることが想定されるため、平常時の状況を踏まえて主要渋滞箇所から解除することに異議は無い。
- ・松任の国道8号を片側3車線に拡幅するとの説明であったが、これまでも乾東交差点を立体化することが必要とお伝えしてきた。乾東交差点の立体化は考えられないのか。
 - ⇒松任拡幅事業は、乾東～宮丸交差点にて渋滞が連なり慢性化しているところを道路の拡幅により面的に渋滞解消することを目的のひとつとして、対策事業を実施している。乾東交差点については、今回、対策を早急に行う必要があると確認したため、今後、対策を検討していきたい。
- ・海側幹線大河端南交差点の右折滞留長が短く、渋滞が発生している。
 - ⇒現在、海側幹線Ⅳ期区間は暫定2車線供用であり、引き続き、4車線整備を進めている。完成形になれば渋滞は解消すると考えている。

【2. その他（高速道路の割引試行について）】

(1) 高速道路の割引試行について

- ・通勤パスの試行結果について報告。

(2) 主な意見

- ・小矢部市や南砺市など、富山県内から金沢市などに通勤する人が多い。富山県内にも検証エリアを拡大してはいかかがか。
 - ⇒需要が多い区間で検討することは考えているが、現在の試行段階では県単位での実施の方針となっているため、石川県内を対象となっている。
- ・北陸道は2万台/日以上利用されているが、通勤パスの申込者数が600人に留まっている理由は何か。毎月の申し込みを簡素化する必要がある。
 - ⇒現行の平日朝夕割引（通勤時間最大5割引）があるため、通勤パスに移行する人が少ないのではないかと考えている。将来的に、平日朝夕割引が無くなった場合は、通勤パスの利用者が増えると考えている。申し込みの簡素化については、今後検討していきたい。

以上